

大学共通テストに教科「情報」導入案 2024 年度から

大学入学共通テスト 見直し案の概要 (大学入試センターの素案)

現状	2024年度から
地理 世界史A	地理 歴史総合
歴史 世界史B	歴史 日本史探究
日本史A	歴史総合、
日本史B	世界史探究
地理A	地理総合、
地理B	地理探究
公民 現代社会	地理総合、
倫理	歴史総合、公共
政治・経済	公民 公共、倫理
倫理、政治・経済	公共、政治・経済
数学 数学I	数学 数学I・数学A
数学I・数学A	数学I
数学II	数学II・数学B・
数学II・数学B	数学C
簿記・会計	新設 情報 情報I
情報関係基礎	



2024 年度以降に行われる大学入学共通テストの出題について、大学入試センターが新たな教科「情報」を新設し、現在の **6 教科 30 科目** を **7 教科 21 科目** に見直す素案をまとめた。センターは大学や高校の意見を聞いた上で今年度内に公表する方針。関係者への取材でわかった。

共通テストは大学入試センター試験に代わり、来年 1 月に始まる。

22 年度からの高校の新しい学習指導要領では「**情報 I**」のほか、日本と世界の近現代史を学ぶ「歴史総合」、自然環境や防災を学ぶ「地理総合」などが必修になる。このため、センターは新指導要領で学び始める現在の中 2 が高 3 になった時に受ける 24 年度とそれ以降の共通テストの出題見直しを検討してきた。情報については、18 年に安倍政権が閣議決定した「未来投資戦略 2018」で、**AI(人工知能)時代に対応した人材育成のため**、24 年度実からの出題検討が促されていた。

素案では、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語の **6 教科に加え、情報の新設を検討。コンピューターの仕組みやプログラミングを学ぶ「情報 I」を出題範囲とした**。コンピューターで試験を行う CBT(コンピューター・ベースド・テスト)化については環境整備が必要とし、24 年度はマークシートなどでの実施を検討中という。

*****記事は以上)*****